

議案第 1 号

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について

平成26年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について別紙のとおり報告する。

平成27年 1 月22日

飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会
会 長 久 野 時 男

地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価(一次評価)結果報告

平成 年 月 日

協議会名:	飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会
-------	---------------------

実施事業:	確保維持事業				バリア解消促進等事業			調査等事業		
	幹線	フィーダー	離島航路	離島航空路	バリアフリー	利用環境改善	鉄道安全	調査	再編調査	協働推進

実施した事業に をつけてください。

地域の交通の目指す姿:	<p>関連計画として定めた地域公共交通総合連携計画の交通システムの狙いは、「名古屋市」に通じる鉄軌道(近鉄名古屋線・地下鉄名港線・あおなみ線)を「広域幹線系統」として、また鉄軌道の主要駅(近鉄名古屋線蟹江駅、地下鉄名港線名古屋港駅、あおなみ線稲永駅)に接続して定時定路線で運行する蟹江線・名港線を「地域間幹線系統」として、さらに、蟹江線・名港線に接続して、地域内をカバーするコミュニティバスを「地域内フィーダー系統」として位置付け、公共交通ネットワークを構築することで、公共交通の持続的確保と交通空白地の解消を目指している。特に、飛島村は、自動車交通に依存した地域であるため、将来のさらなる高齢化を鑑み、高齢者を始めとした人口約4,500人の住民が安心して移動できる環境を確保する。</p>
-------------	---

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成27年1月 日

協議会名: 飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業のうち地域内フィーダー系統関係

補助対象事業者等	事業概要	前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	事業実施の適切性		目標・効果達成状況	事業の今後の改善点(特記事項を含む)
[補助対象となる事業者名等の名称を記載]	[系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)]	[事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通ネットワーク計画に反映させた上で事業を実施したかを記載]	A・B・C評価	[計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載]	A・B・C評価 [計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等分析の上記載]	[事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通ネットワーク計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。] なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
三重交通株式会社	飛島コミュニティバス	目標としていた利用者数とならなかったため、部会を設置した対応協議、バス便りの作成・配布、イベント時の事業説明など、利用促進(広報)活動を実施	A	運行事業は、計画どおり継続実施	B 数値目標(利用者数:1700人)に対して、1,612人となり、目標達成できなかった(対前年比でも減少)。住民へのPRを行ったが、自家用車主体の移動から公共交通を使い分ける意識転換が進まなかったこと、コミュニティバスの利用者が固定化したことが、新規利用拡大につながらなかった。	当該フィーダーが接続する地域間幹線系統の利用は拡大している。法定協議会の協議を経て、幹線系の充実・利用転換を図り、幹線系へのシフトを促すことで、当該フィーダーは廃止することとした。

評価にあたっては、「事業評価を通じた地域公共交通確保維持改善事業の効果的実施にむけて(ガイダンス)」(平成25年11月)を参照し、実施。

飛島村地域公共交通 活性化再生法定協議会

平成19年6月1日設置(地域公共交通会議)
フィーダー系統 平成25年6月28日NW計画策定

協議会が目指す方向性(Plan)

< 飛島村における公共交通に関する課題 >

- 飛島村には、鉄軌道がない。H21年以前は村内を通過する民間路線バスも飛島村による欠損金補助により維持してきたが路線廃止の懸念があり、また、ルート形状から一部の沿線住民しか利用できない交通空白地問題を抱えていた。
- 総合病院や大型商業施設はなく、通勤通学先も村外という状況から、住民ニーズは最寄りの中心市「名古屋市」等に移動できる公共交通サービスの向上が求められた。

< 総合計画における公共交通の位置づけ(H25~H34) >

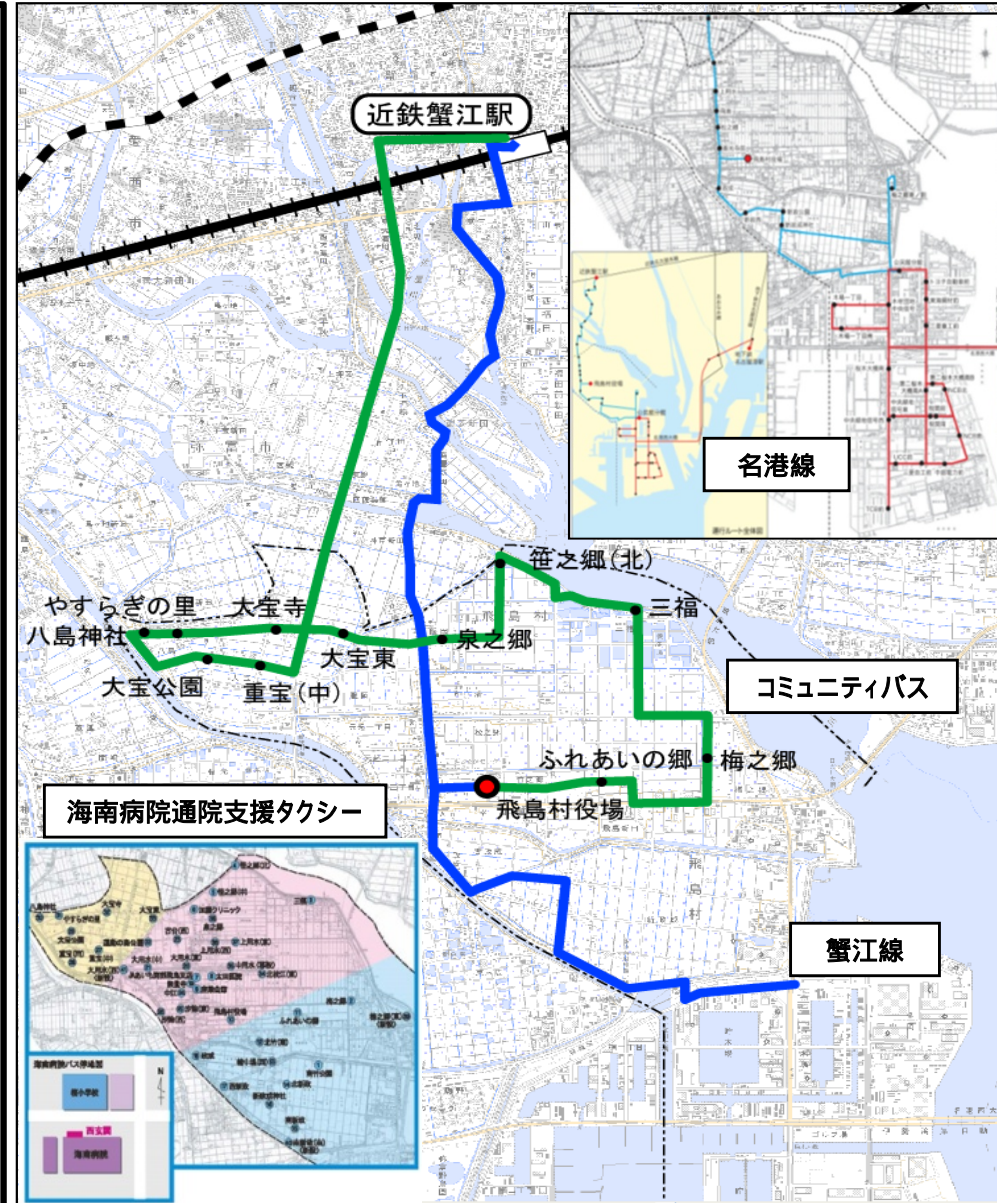
- 飛島バスの運行方法等の改善により利便性を高め、住民や勤労者の移動手段として恒久的な維持存続を目指す。

< 課題解決に向けた対応→連携計画策定(H21~H26)とコミュニティバス等の運行 >

- 課題解消を図るため、活性化再生法に基づきH20/12に「飛島村地域公共交通総合連携計画」を策定、H21年度より実証運行を開始。

～ 連携計画の交通システムの狙い～

- 名古屋市に通じる鉄軌道(近鉄名古屋線・地下鉄名港線・あおなみ線)を「広域幹線系統」とする。
- 鉄軌道の主要駅(近鉄蟹江駅、地下鉄名古屋港駅、あおなみ線稲永駅)に接続し定時定路線で運行する蟹江線・名港線を「地域間幹線系統」とする。
- 蟹江線・名港線に接続し、地域内をカバーするコミュニティバスを「地域内フィーダー系統」として位置付ける。
- NWを構築することで、公共交通の持続的確保と交通空白地の解消を目指す。
- 自動車交通に依存した地域であるため、将来のさらなる高齢化を鑑み、人口約4,500人の住民が安心して移動できる環境を確保すると共に、住民の約3倍以上の昼間人口となる臨海部企業への通勤時間帯の渋滞・排気ガス等の環境対策も含めた公共交通サービスの向上を目指す。
- 総合病院への足の確保は、移動制約者にとって必要不可欠であるため、事前予約制区域運行の「海南病院通院支援タクシー」をもって対応。
- 上記連携計画を踏まえ、本協議会が事業主体として実験運行している、蟹江線・名港線を「地域間幹線系統」として、コミュニティバスを「地域内フィーダー系統」として継続運行する。



地域公共交通に関する具体的取り組み及びそのプロセス(Do)

これまでの取組

- 平成19年6月に飛島村地域公共交通会議を設置、平成20年12月に「地域公共交通総合連携計画」を策定。
- 三重交通(株)により運行されていた路線バス「蟹江線(赤字欠損金を補填)」を幹線系として位置づけ、交通空白部分をコミバスでカバーする計画を策定、平成21年4月よりコミバス試行運行を開始。
- 弥富市の総合病院までの公共交通確保に対する住民ニーズを反映し、当該計画で位置づけていた「海南病院通院支援タクシー(事前予約制乗合タクシー)」の試行運行を平成21年10月より開始。
- 定期的に協議会を開催、事業見直しを行うと共に、平成23年の地域公共交通確保維持改善事業への転換を契機に、「蟹江線」を幹線系統、コミバスをフィーダー系統とする「生活交通NW計画」を策定。
- 平成25年度から、バス検討委員会を設置し、地域公共交通総合連携計画の見直しに係る検討を開始。

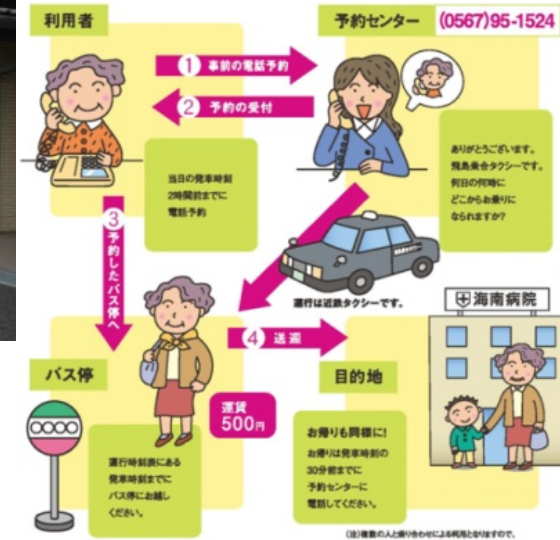
コミュニティバスの車両



飛島バス
名港線・蟹江線の車両



海南病院通院支援タクシー事業
(H21/10開始)



計画や事業等に関する取組み内容

年月 (4-3月年度表記)	取組内容
平成20年度	飛島村地域公共交通総合連携計画の策定
平成21年度(4/1～)	飛島公共交通バス・コミバスの運行開始(実証実験)
平成21年度(10/1～)	海南病院通院支援タクシーの運行開始
平成22年度(10/1～)	コミバスの運行ルートの見直し(近鉄蟹江駅接続)
平成22年度(10/1～)	飛島公共交通バス(蟹江線・名港線)の一部ダイヤ見直し
平成22年度(10/1～)	海南病院通院支援タクシーの区域運行化
平成23年度	実証実験(3カ年)をふまえた事業・協議会運営の見直し
平成23年度	地域公共交通確保維持改善事業への転換準備(生活交通NW計画案の策定等)
平成24年度	各種PR・広報事業(4月老人クラブにて事業紹介、11月イベントにて広報等)

地域公共交通に関する具体的取り組み及びそのプロセス(Do)

平成26年度(H25.10-H26.9)の主な取り組み

< 運行事業の取り組み >

- 「生活交通NW計画」を基に、幹線系統・フィーダー系統事業を継続運行。(H24年4月1日より本格運行化)

< ニーズ調査に関する取り組み >

- 地域公共交通総合連携計画の見直しのため、住民・利用者ニーズを確認。
 - ・住民アンケート調査(H25.9)、利用者アンケート調査(H26.2)を実施。
 - ・住民アンケートは、1,800件配布846件回収。
 - ・現状の事業投資額の妥当性・サービス水準とのバランスなど住民意見を把握。

< 利用促進のための周知活動の取り組み >

- 平成25年11月のイベントを活用し、事業成果のPR・広報活動を展開。パネルの作成・バス便りの配付等を実施。(平成26年11月も同様にイベントにて広報活動を実施。)
- コミバス利用促進のため、広報(H26.5)を用いてPRチラシを全戸配布。

< 事業再編についての検討についての取り組み >

- 住民代表者等からなる専門部会を設置。
- 4回の会議を経て、コミバス事業見直しの方向性を協議。
- 協議結果を法定協議会に上程。

コミュニティバスの廃止問題を取り上げたPRパネル(H25/11イベント時に展示)

とびしまバス便り
平成25年11月号

『コミュニティバス』の利用実態
このままでは、維持できない!?

このままでは維持できない!?

コミュニティバスの廃止問題を取り上げたPRパネル

海防病院院支援タクシーは、村内のいすゞから海防病院のいすゞへ、片道0円で行くことができる。事前に「乗車券」を申請した公共交通機関で、海防病院院支援タクシーを利用する場合は、片道の0円乗車料は比べ、安く利用できます。

海防病院院支援タクシーの利用状況

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
利用人数	173	578	586	558	248
運行回数	147	458	468	472	203
乗車率(人/回)	1.18	1.26	1.26	1.18	1.23

とびしまの公共交通は、町内各地域の公共交通活性化に貢献しています。

飛鳥村のホームページアドレス
<http://www.vill.tobishima.aichi.jp/>

住民ニーズの把握やPR活動等に関する取り組み(継続取り組み分も含む)

年月(4-3月年度表記)	取組内容
平成24年度～ 平成24年10月～	高齢者等に対し、老人クラブ等における各種PR・広報事業 地域公共交通確保維持改善事業の開始(幹線・フィーダー系統)
平成24年、25年、26年の11月 平成25年度(H25.4-H26.9) 平成25年度(H25.4-H26.9)	・H24年度:H24.4～9 ・H25年度:H24.10～H25.9 ・H26年度:H25.10～H26.9 イベントを活用したPR・広報活動の実施(パネルによる広報、バス便り配付、要望調査) バス検討委員会を設置、連携計画の見直しを開始 住民向けアンケート調査(H25.9)、利用者向けアンケート調査(H26.2)を実施 H26.5 コミュニティバスの利用促進のための「バス便り」を広報を用いて全戸配布

地域公共交通に関する具体的取り組みに対する評価 (Check)

利用実態による評価(蟹江線・コミバス)

- H26/9までの実績を基に、H25～H26年度比較を行うと、幹線系統の蟹江線は微増、フィーダー系統のコミバスは減少。
- コミバスは、対前年比1.8%減少。年間296日運行のため1日当たり5.4人(片方向2.7人、1便当たり0.7人)の利用で、利用者が固定化。
- 目標に対し利用促進を図るも、利用者数は減少。

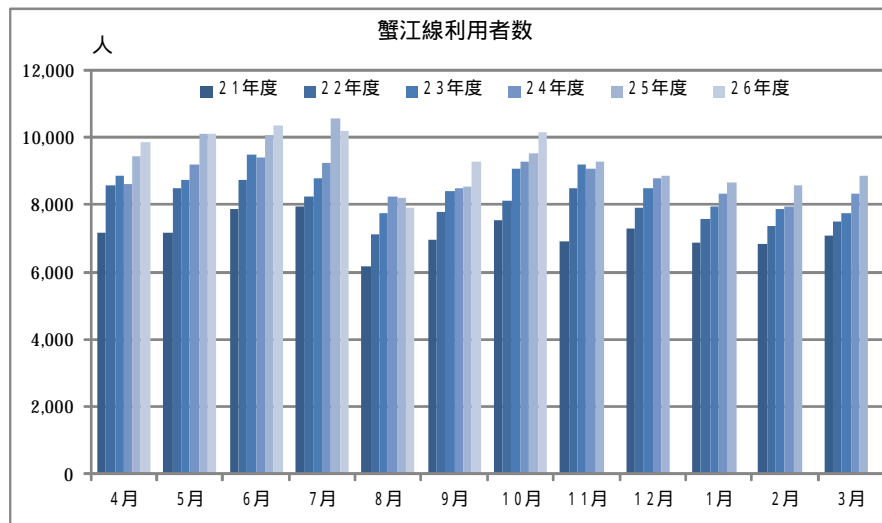
利用者数による事業目標

	H23年度実績 (H23.4～H24.3)	H24年度実績 (H23.10～H24.9)	H25年度実績 (H24.10～H25.9)	H26年度 目標値	H26年度実績 (H25.10～H26.9)
コミバス	1,887人	1,674人	1,641人	1,700人	1,612人 (対前年比1.8%減)

蟹江線利用者数

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
4月	7,184	8,588	8,853	8,604	9,454	9,846
5月	7,152	8,503	8,758	9,182	10,092	10,106
6月	7,863	8,751	9,484	9,426	10,077	10,363
7月	7,963	8,252	8,768	9,229	10,549	10,194
8月	6,161	7,106	7,751	8,252	8,183	7,910
9月	6,969	7,769	8,416	8,477	8,544	9,295
10月	7,520	8,125	9,082	9,287	9,538	10,154
11月	6,921	8,513	9,190	9,073	9,302	
12月	7,298	7,932	8,506	8,803	8,876	
1月	6,872	7,582	7,935	8,315	8,664	
2月	6,833	7,373	7,881	7,947	8,567	
3月	7,095	7,494	7,737	8,309	8,864	
合計	85,831	95,988	102,361	104,904	110,710	67,868
増加率		11.8%	6.6%	2.5%	5.5%	2.2%

2.2%

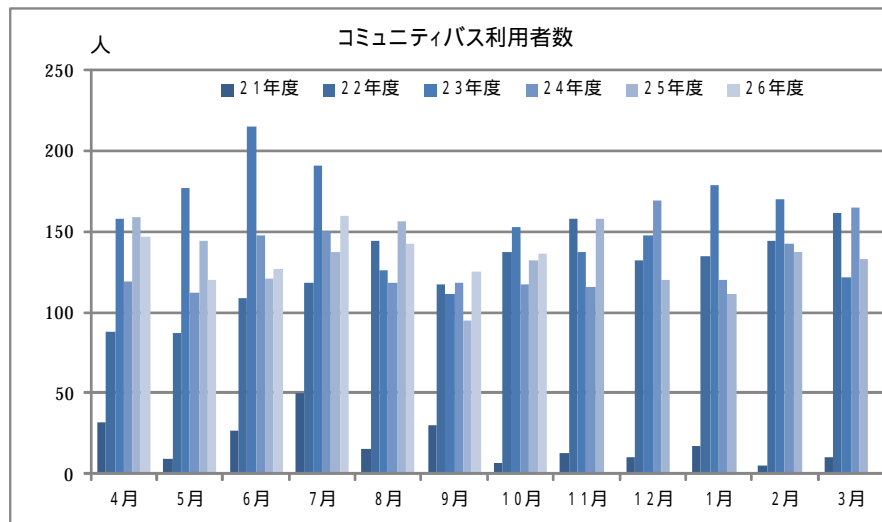


補助金評価	H22(21.10～)	H23(22.10～)	H24(23.10～)	H25(24.10～)	H26(25.10～)	H27(26.10～)
10-9計	91,508	99,049	103,501	108,633	111,525	
増加率		8.2%	4.5%	5.0%	2.7%	

コミュニティバス利用者数

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
4月	32	88	158	119	159	147
5月	9	87	177	112	144	120
6月	27	109	215	148	121	127
7月	50	118	191	150	137	160
8月	15	144	126	118	156	142
9月	30	117	111	118	95	125
10月	7	137	153	117	132	136
11月	13	158	137	116	158	
12月	10	132	148	169	120	
1月	17	135	179	120	111	
2月	5	144	170	142	137	
3月	10	161	122	165	133	
合計	225	1,530	1,887	1,594	1,603	957
増加率		580.0%	23.3%	-15.5%	0.6%	1.4%

1.4%



補助金評価	H22(21.10～)	H23(22.10～)	H24(23.10～)	H25(24.10～)	H26(25.10～)	H27(26.10～)
10-9計	725	1,845	1,674	1,641	1,612	
増加率		154.5%	-9.3%	-2.0%	-1.8%	

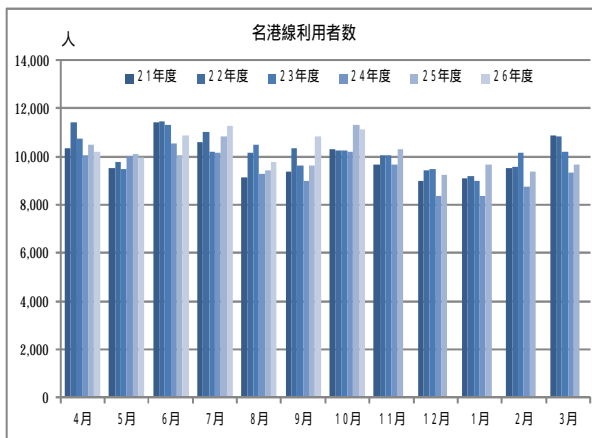
地域公共交通に関する具体的取り組みに対する評価 (Check)

利用実態による評価 (名港線・海南病院通院支援タクシー)

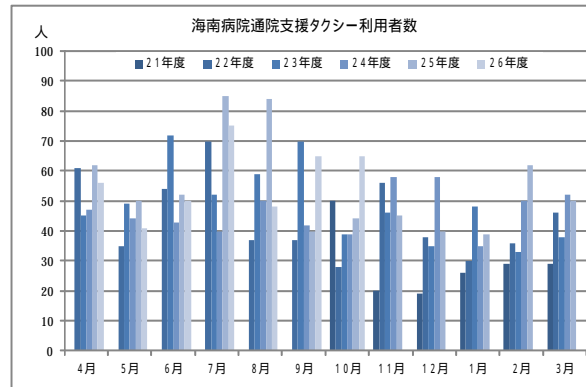
- 名港線のH26の利用者数は、H25対比で増加。
- H23、24、25年の減少傾向から増加に転じる。
- 臨海企業連絡協議会事務局長の評価は景気の好転の影響と指摘。

- 海南病院通院支援タクシーのH26の利用者数は、H25対比で減少。
- 絶対数が少なく、利用者の固定化傾向あり。

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
4月	10,361	11,387	10,740	10,053	10,504	10,196
5月	9,544	9,753	9,471	10,025	10,099	9,946
6月	11,406	11,473	11,311	10,515	10,032	10,870
7月	10,577	11,005	10,220	10,155	10,839	11,255
8月	9,157	10,160	10,499	9,280	9,415	9,752
9月	9,370	10,347	9,641	9,006	9,623	10,815
10月	10,305	10,247	10,232	10,180	11,292	11,105
11月	9,671	10,066	10,047	9,649	10,304	
12月	9,012	9,431	9,495	8,373	9,230	
1月	9,066	9,177	8,986	8,349	9,670	
2月	9,528	9,547	10,133	8,764	9,379	
3月	10,899	10,844	10,197	9,320	9,679	
合計	118,896	123,437	120,972	113,669	120,066	73,939
増加率		3.8%	-2.0%	-6.0%	5.6%	3.0%



	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
4月	61	45	47	62	56	
5月	35	49	44	50	41	
6月	54	72	43	52	50	
7月	70	52	40	85	75	
8月	37	59	50	84	48	
9月	37	70	42	40	65	
10月	50	28	39	39	44	65
11月	20	56	46	58	45	
12月	19	38	35	58	40	
1月	26	30	48	35	39	
2月	29	36	33	50	62	
3月	29	46	38	52	50	
合計	173	528	586	558	653	400
増加率		205.2%	11.0%	-4.8%	17.0%	-4.1%



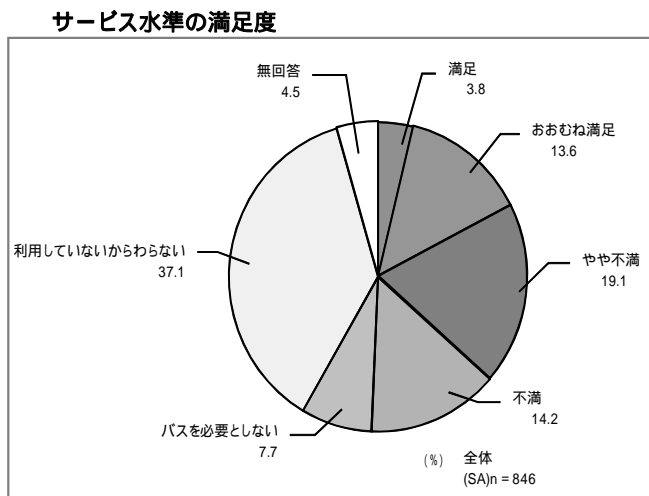
	H22(21.10~)	H23(22.10~)	H24(23.10~)	H25(24.10~)	H26(25.10~)	H27(26.10~)
10-9計	122,606	121,194	118,124	115,147	122,388	
増加率		-1.2%	-2.5%	-2.5%	6.3%	

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
運行回数	147	458	468	472	551	347
乗客率(人/回)	1.177	1.153	1.252	1.182	1.185	1.153

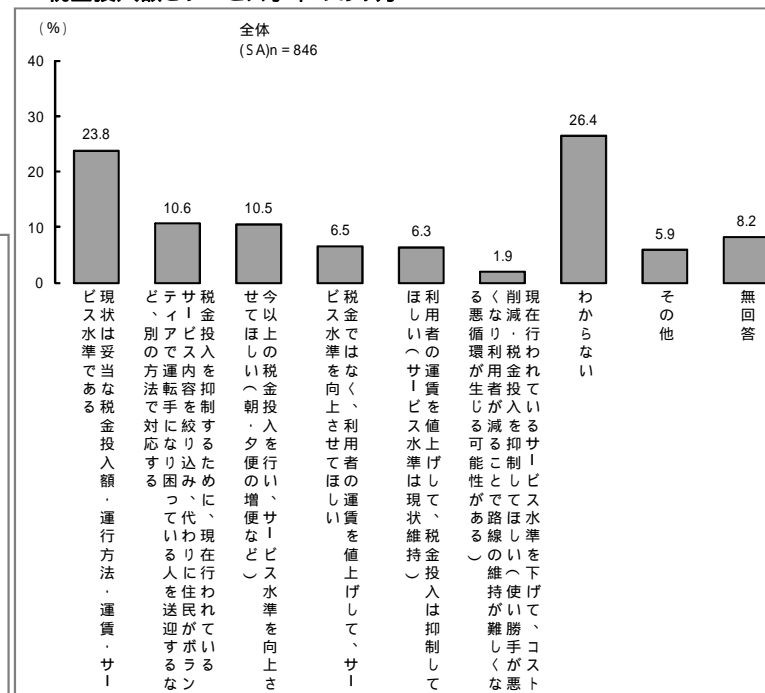
	H22(21.10~)	H23(22.10~)	H24(23.10~)	H25(24.10~)	H26(25.10~)	H27(26.10~)
10-9計	467	581	505	665	615	
増加率		24.4%	-13.1%	31.7%	-7.5%	

村民アンケート調査結果(住民の評価)H25.9

- 公共交通全体(蟹江線・コミバス)に関するニーズを確認。
- サービス水準の満足度(左)では、利用していないためわからないとの回答を除くと、不満との回答が多く、改善が求められた。
- 税金投入とのバランス(右)では、わからないとの回答が多いものの、現状は妥当な水準にあるとの回答も多く、これ以上税投入のサービス強化は望まれていない。
- 専門部会等では、こうした評価結果を踏まえ、新たな税投入を行わない範囲で、コミバスの見直しを行うべきとの指摘あり。



税金投入額とサービス水準のあり方



自己評価から得られた課題とその対応(Action)

< コミバスに関する課題とその対応 >

自己評価結果の総括

- ・NW計画を提出したH25.6時点では、コミバスの利用者減少からの転換を図るため、住民・利用者ニーズの確認、イベント等における実態報告のための情報発信対応(バス便りの作成・配布)等を実施し、モニタリングによる経過観察することとした。
- ・H26.3法定協議会にて、H26.5時点での再度情報発信(バス便りの全戸配布)を実施し、利用者増とならなければ「廃止」との決議を行う。
- ・H26.9法定協議会にて、利用者増とならなかったため、「コミュニティバスの廃止」「他の事業改善対策の実施」を決定。

コミバスの利用が増えなかった考察

- ・利用者数の推移からみると、フィーダー系統のコミバスが減少傾向に対し、幹線系統の蟹江線は増加を示す。
- ・フィーダー沿線の一部の固定利用のみ。(運転手ヒアリングでも確認。若者の利用だけで、高齢者の固定利用がないことも確認)
- ・一定の需要が顕在化するほどの人口分布が乏しく、自家用車中心の生活様式から公共交通を使い分ける意識転換が出来なかった。
- ・公共交通利用意向のある人は、一定の便数のある幹線系統まで自転車にて移動し乗り継ぐ。駐輪場の利用者数は増加。
- ・ターゲットとしていた高齢者は、自家用車の利用か、高齢者福祉タクシーチケット事業によりカバー。チケット利用者数は拡大。

コミバスの対応

- ・約1.5年の審議の結果、コミバスは廃止。
- ・代替措置として「蟹江線の増便」、「駐輪場の整備」、「混乱を招かないよう情報発信」を行う。

< 蟹江線の課題・対応 >

課題

- ・事業開始時期は朝の一部便で満車状態。
- ・近年では夕方等の一部時間帯での増便要請あり。

対応

- ・朝便のダイヤ変更、車両の入れ替え等、対応済み。
- ・コミバスの見直しに併せ、増便対応する予定。

< 名港線の課題・対応 >

課題

- ・事業開始時期は朝の一部便で満車状態。
- ・近年では、利用伸び悩み、運賃値下げの要請あり。

対応

- ・朝便のダイヤ変更等で対応済み。
- ・企業連絡協議会を通して要請に対する調整、利用促進を協議。

< 海南病院通院支援タクシーの課題・対応 >

課題

- ・利用方法が分からないとの意見あり。
- ・近年では、停留所の増設等の要請あり。

対応

- ・新規利用者を獲得すべく、引き続き、老人クラブ定例会等で利用方法を説明。
- ・引き続き、停留所の移設、増設を検討・実施。

< 交通計画全般の対応 >

- 上記に示す現行計画(地域公共交通総合連携計画)事業における課題対応をふまえ、現在、新しい交通計画(地域公共交通網形成計画)を策定中。
平成27年度より、地域公共交通網形成計画に基づく事業を実施する予定。

アピールポイント(特に工夫した点)

専門部会の設置

- ・コミバスについて、集中討議を行う「バス検討委員会」を設置。
- ・H25.7～H26.12にかけて、約1.5年、都合7回の協議を実施。
- ・協議結果を、逐次法定協議会に上申し、大幅な事業転換について十分な協議を行った。

専門部会の集中協議により、懸案だったコミバスの対応について、蟹江線増便と駐輪場増設の条件で、廃止の理解が得られた。

広報活動の継続実施

広報活動の継続実施

- ・H21年のコミバスの事業開始時に「時刻表」を作成し全戸配布。
- ・H22/10事業見直し時にも改定版を作成し全戸配布。
- ・H24/11イベント時には、広報ブースを設置しパネル展示・バス便りを配付。
- ・要望把握のためのアンケート調査も実施。
- ・H25/11継続してイベント時に広報活動を実施(パネル展示・バス便り配布)。
- ・H26/5コミバスの廃止も選択肢においた「バス便り」を全戸配布(下図参照)。

	日時・協議組織	協議内容
平成25年度	H25/6/28 法定協	地域公共交通総合連携計画の見直しについて バス検討委員会の設置協議
	H25/7/23 委員会	趣旨説明・委員会設置について 地域公共交通総合連携計画の実施状況と検討課題 住民向けアンケート調査案について
	H25/9/27 住民検討会	住民代表者との協議 コミュニティバス・蟹江線・海南病院通院支援タクシーの対応について
	H25/10/10 委員会	住民アンケート調査(速報)について コミュニティバス・蟹江線・海南病院通院支援タクシーの対応について
	H25/12/10 委員会	住民アンケート調査について コミュニティバスの対応について
	H26/2/19 法定協	バス検討委員会の協議経過 地域公共交通総合連携計画(素案)について
	H26/4/23 委員会	法定協議会での協議結果について コミュニティバスの事業改善・住民向け広報紙資料について
平成26年度	H26/6/18 委員会	バス停駐輪場の設置検討について
	H26/6/27 法定協	バス検討委員会での協議状況報告
	H26/9/11 委員会	コミュニティバスの今後の対応について・・・ コミバス廃止承認 計画の見直し対応について
	H26/9/26 法定協	バス検討委員会での協議結果について コミュニティバスの廃止、蟹江線の増便等対応について・・・承認
	H26/12/17 委員会	地域公共交通網形成計画(案)について
	H27/1/22 法定協	地域公共交通網形成計画(案)について

